

4. 宮沢地区

(1)宮沢地区の地勢と人口の推移

丹生川の下流域に安久戸、正巖、丹生、丹生川と赤井川の分岐点に押切、中島、行沢、赤井川と中沢川との分岐地点に高橋、赤井川の上流域に矢越、関谷、市野々、岩谷沢、中沢川沿いに中沢、刈安の集落が平野や段丘上に形成されています。

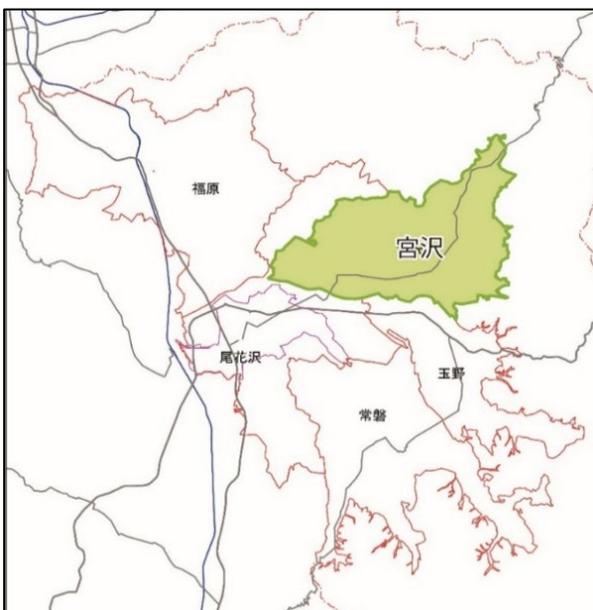


図 宮沢地区位置図



図 人口推移と年齢3区分人口割合

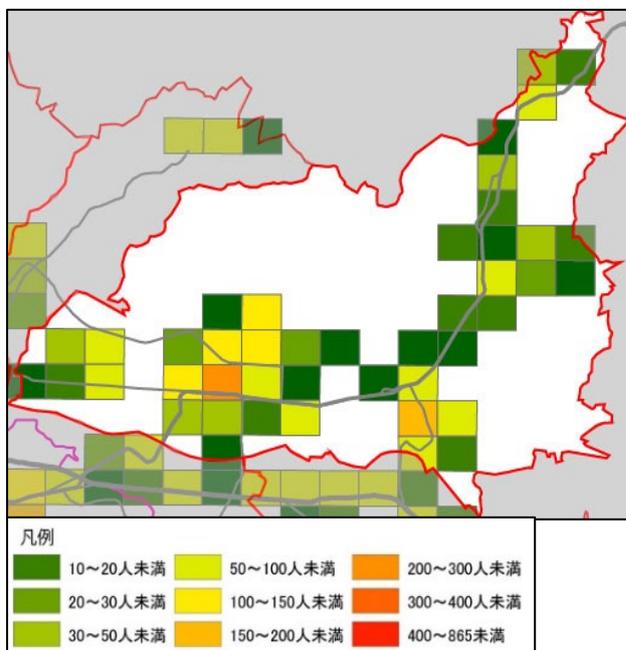


図 500m人口メッシュ

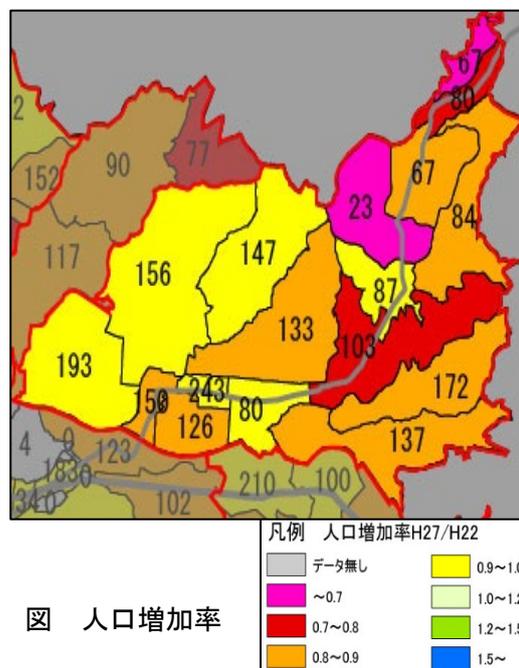


図 人口増加率

<人口推移の状況>

宮沢地区は5地区の中で2番目に人口の減少率が高くなっています。正厳などの平野部においては、人口減少が抑えられていますが、山間部に近い関谷、岩谷沢において人口が大きく減少しています。

(2)宮沢地区の特性と現況について

(宮沢地区の特性)

・宮沢地区は主に主要地方道尾花沢最上線沿線に集落が形成されています。主要地方道尾花沢最上線は地区内での生活を支える最重要路線であると同時に、松尾芭蕉が歩いた「おくのほそ道」に関連する歴史的な道として知られています。丹生川を始め多くの河川が流れている本地区は、河川沿岸に優良な農地が広がっており、本市における米の主産地となっています。また、中島、高橋地区の中山間地には棚田百選にも選ばれた美しい景観が広がっています。

(主要施設・交通インフラ・自然環境・防災)

- ・押切に地区公民館、高橋に地域交流センターがありコミュニティ活動の中心的施設となっています。生活関連の施設は、正厳や押切を中心に点在しており、丹生に教育施設として宮沢小学校、保育施設としてさくら保育園があります。
- ・市街地と最上町を結ぶ主要地方道尾花沢最上線、福原地区を結ぶ一般県道荻袋正厳線、玉野地区を結ぶ市道 I-17 号線が地域の骨格道路です。また、主要道路沿線にバス路線があり、各集落において概ねバスの利用が可能です。
- ・丹生川の下流には優良な農地が広がり、その周りを丘陵地の緑が縁取っており、中島や高橋には、美しい棚田の田園風景が広がっています。また、翁山を始めとした貴重な自然資源を有し、地区内随所で美しい自然景観が広がっています。
- ・主要地方道尾花沢最上線と丹生川の交差点(西正厳橋)及び丹生川流域の農地周辺を中心に洪水浸水区域があり、丹生や高橋から中沢、刈安の扇状地、矢越、市野々集落の背後が急傾斜地となっており、土砂災害の危険性のある区域が広がっています。

(3)まちづくりの目標と方針

●まちづくりの目標

「美しい田園や水辺環境を活かした自然豊かなまちづくり」



<まちづくりの方針>

- ①主要施設を結ぶ交通ネットワークの形成と学校跡地等公共用地の利活用
- ②市街地や他地区を繋ぐ道路交通網の確保
- ③河川の適正管理による優良農地の保全と水資源の活用促進
- ④主要道路の洪水浸水区域と地区内に広がる土砂災害警戒区域に対する適切な防災対策

①主要施設を結ぶ交通ネットワークの形成と学校跡地の利活用

・宮沢地区には主要幹線道路沿線に地区公民館や地域交流センター等のコミュニティ施設があります。地区内において地域コミュニティ等集落機能の維持が図られるよう、地区内主要施設を結ぶバス、タクシー等を活用した交通ネットワークの形成を図ります。また、旧明德小学校跡地への除雪車格納庫の整備を進める等、地域の活性化に寄与する公共用地の積極的な利活用を検討します。

②市街地や他地区を結ぶ道路交通網等の整備

・主要地方道尾花沢最上線、一般県道荻袋正厳線を始めとした市街地及び他地区を結ぶ道路や西正厳橋、行沢橋等の他地区を繋ぐ橋梁の長寿命化を進め、他地区とのつながりを維持していきます。また、高等学校等の通学や医療機関への通院等市街地を結ぶ利便性の高い公共交通の整備を推進します。

③河川の適正管理による優良農地の保全と水資源を活用した地域づくり

・宮沢地区は丹生川、赤井川、中沢川等地区内に多くの河川が流れており、その沿岸には優良農地が広がっています。関係機関と連携しながら河川の適正管理に努め、棚田を始めとした美しい自然景観と優良農地の保全を図るとともに、小水力発電などの自然エネルギーの活用を促進し、自然環境に優しい地域づくりを進めます。

④市街地を結ぶ橋梁の洪水浸水対策と地区内における土砂災害防止対策の実施

・地区と市街地を結ぶ橋梁周辺の洪水浸水対策による災害支援ルートの確保を図るとともに、他地区と比較すると多くの居住エリアに土砂災害警戒区域が広がっていることから、落石防止柵の設置等地区内で安全に暮らせるよう安全対策を推進し、区域周辺の地形を考慮した避難ルートの確保や避難施設の適正な配置を進めます。

